

豊栄高校「にひばり祭」の作品紹介記(3)

平成27年11月30日(月)

11月3日に「にひばり祭」(文化祭)が開催されました。

今回紹介するのは、美術作品です。単に写生する、思いつきでデザインするというのではなく、制作活動には、一定の手順を経た工夫があります。それに気づいていただくために、解説も載せました。どうぞ、美術選択者の作品群をご鑑賞ください。

美術Ⅰ(1年)

美術Ⅰの選択者は最も基礎的な立体である立方体を木炭で描き、輪郭なしでも立体が成立することを学びます。自らの眼で見た観察と、遠近法の原理が合致した時、ようやく違和感のない立方体が画面に現れます。

下段の課題は数回に分けて行われる平面構成の基礎練習です。進度によって展示している作品が違います。この課題の後、版画を学びます。

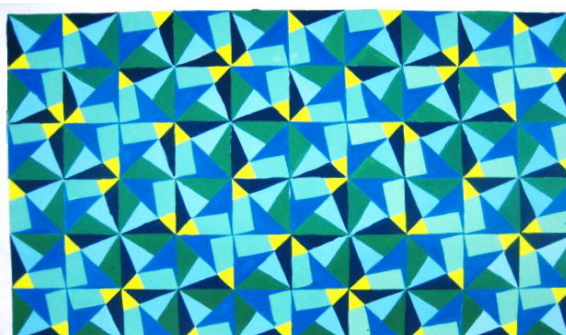
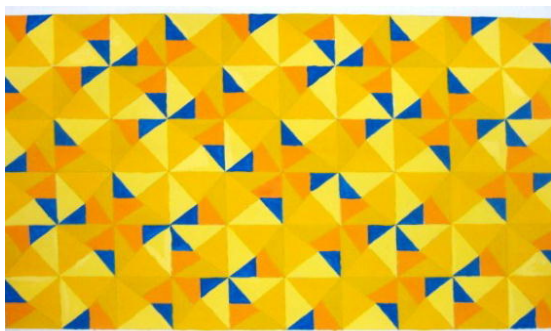
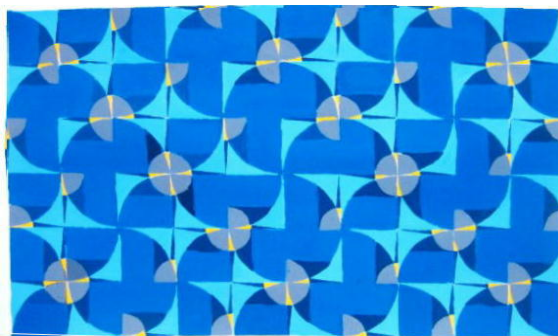


美術Ⅱ(2年芸術コース)

美術Ⅱの選択者は、栄螺(サザエ)の模刻、油絵、平面構成、陶芸、木で作るスプーン、ロゴデザイン、パッケージ製作に取り組みました。



平面構成 (画面の歪みをご容赦ください)



来場者に作品を無料頒布しました。
 白いパッケージに貼ってある
 ロゴデザインと
 皿のデザインは
 生徒同士の投票で決めました。



深緑シールのパッケージにはどちらかの皿とスプーンが入ってます。
 スプーンの材質は「桂かチーク」、
 仕上げは食用亜麻仁油含浸です。

赤いシールのパッケージには2種類のうちどちらかの皿が1枚。



3年次美術Ⅱ（文理コース）

3年次美術Ⅱの選択者は、一学期は自画像を描きました。課題をこなすにつれ、単に見た目を似せようとするのではなく、対象物をどれだけ理解したかが正確に描写するために重要であることに気づきます。授業時間はあっという間に過ぎ、気がつくや残り僅かというくらい集中して描く日々が続きました。



2学期はデザインの実習として椅子を作りました。構造を良く考えて作らないと壊れてしまう細い木材が素材です。各自が力の方向を考慮しながら作りました。

